

農林水産大臣政務官

藤木 眞也 様

要 望 書

令和5年6月5日

長野市議会新友会

要 望 書

平素は、当市の行財政運営につきまして、格別なるご指導、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当市は地方中核都市としての役割を担いつつ、人口減少、高齢化が進む中で、心と体の健康のみならず、社会の健全性を含む広い概念の「健康」が維持され、幸せを実感できる「健幸増進都市・長野」の実現に向けて取り組んでおり、子育て・教育の充実、スポーツを軸としたまちづくり、地域の特色を活かしたバイオマス産業を推進し、環境にやさしく災害に強いまちづくりなどに取り組んでいるところです。

しかし、当市は、現在も令和元年東日本台風災害からの復興の途上にあり、加えて、新型コロナウイルス感染症の「5類」への変更に伴う医療体制の整備や市内経済及び地域コミュニティの回復のほか、市民生活等に大きな影響を与えている原油高・燃料高・物価の高騰への対応など、市政運営において喫緊の課題が山積しています。

つきましては、本市の未来を見据えた更なるご支援いただきたく要望いたします。何卒格段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月5日

長野市議会新友会 会長 三井 経光

要 望 事 項

1 中山間地域に特化したスマート農業機械開発への 支援の充実について

国では、スマート農業の社会実装を加速化するため、必要な技術開発や改良に向け取り組んでいただいているところである。

本市でもスマート農業機械の開発を支援しているが、予算の制約もあり、中山間地域特有の急峻で狭小な農地で活用できる技術の開発は十分に進んでいない。

農業者の高齢化と担い手の減少が加速度的に進行する中山間地域においてこそ、生産基盤の強化につながる革新的なスマート技術が必要であることから、中山間地域に特化した農業機械開発への支援の充実を図っていただきたい。